

令和 3 年度青森県中学校体育大会
第 72 回 青森県中学校体育大会冬季スケート・アイスホッケー競技大会
アイスホッケー競技

- 1 主 催 青森県中学校体育連盟 青森県教育委員会
- 2 後 援 八戸市教育委員会 青森県アイスホッケー連盟
- 3 主 管 八戸市中学校体育連盟
- 4 会 場 テクノルアイスパーク八戸
- 5 期 日 令和 3 年 12 月 6 日(月) ～ 12 月 9 日(木)
- 6 参加資格 (1) 参加者は、青森県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍する生徒で、校長および青森県中学校体育連盟会長が参加を認めた者とする。
(2) 年齢は、平成 18 年 4 月 2 日以降に生まれた者に限る。
- 7 監督及び
コーチ 監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。
「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者を言う。
ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。
①満20歳以上であること。
②主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
③他校と兼務していないこと。
④次のいずれかに当てはまる者とする。
ア 教育職員免許状に基づく免許を有するもの。
イ (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有するもの。
ウ 自治体(含む教育委員会)。体育(スポーツ)協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。
外部コーチは、校長が認めたものとする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部コーチとしてプレーヤーズベンチに入ることは認めない。
部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であることの観点から、「校長・顧問または当該部活動を担当する教職員」がチームに帯同すること。
- 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・外部指導者(コーチ)・トレーナー等は、運動部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。
なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 8 参加制限 プレーヤーズベンチに入る者は選手 22 名以内(GK 2 名以内、プレイヤー 20 名以内)、監督・コーチ等は 4 名以内とする。(新型コロナウイルス感染症対策の観点から、コーチは必要最低限の人数が望ましい。) 合同チーム、選抜チームを認める。監督は教員とし、合同チームは代表教員とする。
- 9 参加料 1 名 1,000 円
※大会当日に納入する。

- 10 申込み 令和3年11月26日(金)17:00まで
別紙申込書に記入のうえ、郵送、内部メール、メール、FAXのいずれかで申し込む。職印を押印した申込用紙と参加料を大会当日に提出する。
※申込み先 ☎039-1161 八戸市河原木字八太郎10-139
八戸市立北稜中学校内 大前 拓視 宛
TEL 0178-28-0525 FAX 0178-21-1192
- 11 抽選会 第57回八戸市中学校アイスホッケー大会の成績でシード校を決定し、その後臨時顧問会議を開き、抽選を行う。
- 12 競技方法
- ・ トーナメント法とする。
 - ・ (公財)日本アイスホッケー連盟競技規則及びローカルルールを併用する。
 - ・ 試合時間は各ピリオド正味20分、インターバル10分とする。
 - ・ 第3ピリオド終了後同点の場合は、3分間のインターミッションの後、5分間のOVT(3対3)を行い、尚も同点の場合は5対5のPSSを行う。
 - ・ 選手が10名以下でも大会に出場できる。ただし、試合進行のために必要な人数を氷上に揃えることができなくなった時点で没収試合とし、0対15で当該チームの敗戦とする。
 - ・ 組合せ表左側のチームを仮ホームチームとし、オフィシャル席からみて左側のベンチを使用する。試合開始前、パックスにより、ホームチームを決定する。
 - ・ 選手として登録している選手が、怪我等により出場はできないがベンチに入る場合は、ユニフォーム、ヘルメットを着用する。ただし、防具は着用しなくてもよい(選手扱い)。
 - ・ マネージャー等で監督、コーチ登録をしている生徒がベンチに入る場合は、ヘルメットを必ず着用すること(監督、コーチ扱い)。
 - ・ メンバーの変更がある場合は、試合開始1時間前までにメンバー表をオフィシャルまで提出する。
 - ・ 合同チームのユニフォームは統一したものにする。
- 13 表彰
- ・ 優勝校には優勝旗を授与する。
 - ・ 優勝校から三位校までに、賞状を授与する。また、優勝校と準優勝校のチーム構成選手には、別に、個人用賞状を授与する。
- 14 全国大会出場について
本大会の上位2チーム(選抜チームは対象外)が全国大会に出場することができる。
但し、県大会が中止となった場合は、八戸市中学校体育大会の結果(オープン参加した三沢合同のリーグの結果)を反映させる。
- 15 健康管理 大会参加者の健康管理については、関係者一同、十分注意しなければならない。もし、事故の生じた時は、開催地大会事務局を通して、青森県中学校体育連盟会長へ細大もらさず報告し、その指示を受けるものとする。
- 16 新型コロナウイルス感染症対策について
- (1) 参加制限等について
- ① 保健所の疫学的調査において選手、監督、コーチ本人の感染が確認されている場合、あるいは感染が疑われPCR検査等の検査中の場合は、当該選手、監督、コーチの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
 - ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、あるいは同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、当該選手、監督、コーチの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
 - ③ 競技会開始日から過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある選手、監督、コーチの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
 - ④ 何らかの症状・体調不良(37.5度以上の発熱、咳、咽頭痛、風邪の症状、倦怠感、味覚・嗅覚異常等)が数日間続いた場合、また当日このような症状がみられる選手、監督、コーチの競技会

への参加・競技会場への入場を認めない。

- ⑤ 参加選手、監督、コーチ、大会役員は、競技会開始日から14日前からの健康観察を行い、「体調管理チェックシート」に記録する。各校の監督(合同チームは代表監督)が、競技会開始日に全選手、監督、コーチ、大会役員のチェックシートを提出する。
 - ⑥ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
- ※ 医師に新型コロナウイルス以外と診断された場合やインフルエンザ等が回復した場合は選手、監督、コーチの競技会への参加を認める。

(2) 観客、報道関係者について

- ① 観客は参加選手の家族のみとし、以下の措置をとる。
 - ア 試合毎に観戦者名簿を作成する。各校の監督(合同チームは代表監督)は、試合当日に「試合当日観戦者一覧」を競技会事務局に提出する。
 - イ 受付を設置し(感染予防措置を十分にとる)、入場時の名簿チェック、検温を実施するとともに、マスクの着用の義務付け、手指消毒、距離確保や大声での応援の制限等、各競技会場・施設の注意事項・遵守事項を踏まえた感染防止のための協力を観客に対し要請する。
 - ウ 家族で観戦する際に、小さなお子さんは保護者のそばにおいて、目を離さないようにする。
- ② 競技会場内に感染予防のための留意事項や注意事項などを掲示する。
- ③ 一般観客の入場を制限している旨、競技会場入り口に掲示する。
- ④ 報道関係者については「報道関係者一覧」により、試合毎に所属、氏名を記録するとともに検温を実施し、観客に対するものと同様に感染防止のための協力を要請する。

(3) 参加選手・監督・コーチ・チームに対する措置

- ① 基本的な感染防止措置の徹底
 - ア 入退館時のマスク着用、手洗いや手指消毒液による消毒を指導する。消毒液については、競技会場に設置しているが、競技会事務局、各校でも準備する。
 - イ 大きな声での会話、応援、声出し等を制限する。
 - ウ プレーヤーズベンチ内の監督、コーチ、役員はマスクを必ず着用する。
 - エ ベンチ入りしない選手はマスクを必ず着用し、十分な距離をとって観戦する。
 - オ ボトルやタオルなどのチーム共有物は、チーム管理から個人所有の物に変更する。
 - カ ホワイトボードやマーカーについては、個人所有の物を使用する。
- ② 選手控室、プレーヤーズベンチの使用にあたっての注意事項
 - ア 控室を使用したミーティングは試合前と試合後の10分程度で行う。
 - イ ゴミについては、個人で持ち帰り自宅にて処分する。
- ③ レフェリー委員会との調整事項
試合開始時の用具チェック・挨拶、プレーデット時のパックの取り扱いその他、既存のルールに規定がない注意事項についてあらかじめ確認のうえ、各チームに傳達し徹底を図る。

(4) オフアイス・オフィシャル

- ① 出場選手、監督、コーチの取り扱いに準ずる。オフアイス・オフィシャル従事者は「試合当日体調チェック観察票」を競技会事務局に提出する。
- ② 基本的な感染防止措置の徹底
 - ア 入退館時の際の手洗いや手指消毒液による消毒を行う。
 - イ 従事する際はマスクを必ず着用する。大会本部などは窓の開放や機械換気により換気を行う。
 - ウ 上記室内のデスク、イス、ホワイトボード、マーカー、ハンガー、直接手の触れる箇所のこまめな消毒を行う。
 - エ オフィシャル内はアナウンサー、タイムキーパー、ペナルティータイムキーパーのみにする。他は、別の場所に設置する。各種スイッチ類など直接手の触れる箇所のこまめな消毒を行う。ソーシャルディスタンスの観点から1m空けて座るよう努める。
 - オ 得点者の伝達方法など、レフェリーとのコミュニケーションが必要な際は、十分な距離を取ったうえで行うほか、紙やホワイトボードでの伝達を使い飛沫対応を行う。
 - カ ペナルティーボックスアテンダントは、ペナルティーボックス外で待機し、扉の開閉時(ペナルティー終了時は10秒程度前)にペナルティーボックスへ入室する。また、得点後

の選手の退室時もペナルティーボックスアテンダントが扉の開閉を行う。

(5) 開・閉会式、表彰式は、これを行わない。

(6) その他

① リンクの感染予防対策マニュアルを遵守して、競技会を運営する。

② 新型コロナウイルス感染状況の推移や緊急事態宣言の発令等によっては、急遽、予定の変更や競技が中止となる場合もある。

17 個人情報の取り扱いについて

青森県中学校体育連盟は、申し込み書に記載する個人情報を大会運営のための準備、参加資格確認、結果公表、上位大会の派遣手続き等のために使用する。申し込み時点で、これらを説明した上で大会参加申込みに関する情報提供の同意が得られない生徒・保護者がいた場合には、事務局に報告・相談の上対応することとする。特に申し出がない場合は、上記内容を承諾したものとする。

18 観戦中の事故等について

観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は事故責任であることを理解した上で観戦するものとする。

※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪、雷等天候の影響で起こった場合も含む。

19 SNS等インターネットにおける画像・動画のアップロードについて

大会における選手や応援生徒の画像・動画をSNS等を通じてインターネット上にアップロードすることにより訴訟事案に発展する可能性がある。については、それらをSNS上にアップロードすることを控えること。

20 その他

- ・ マウスガードの正しい着用，ユニフォームの着方（お守り等含む），あご紐の長さ，ネックガードの着用，フェイスガードストッパーの指導。
- ・ ゲームオフィシャルへの言動の指導。
- ・ 施設利用のマナー指導。
- ・ 選手の行き帰りに関して各中学校で体制を整える。

21 タイムテーブル

第1試合						
練習	整氷	第1ピリオド	休憩 (整氷)	第2ピリオド	休憩 (整氷)	第3ピリオド
10分	10分	20分	10分	20分	10分	20分

※練習は試合開始の25分前に開始します。

22 組み合わせ 別紙参照